

保育施設の皆さまへ

## 保育中の子どもたちの健康と命を守るために

### ★睡眠時はあおむけ寝

窒息死や突然死を防ぐため、特に0歳と1歳はあおむけで。

### ★睡眠チェックを必ずしましょう

特に0歳と1歳は一人ひとりの子どもに触れ、熱さ、発汗、腫れ、鼻づまりなども観察しましょう。目視だけでは不十分です。「いつもと違う」は、子どもからの大切なシグナルです。念のため、保護者にもお迎え時に伝えましょう。

### ★預け初めは要注意。できる限り、慣れ(慣らし)保育を

預け初めの時期、環境の変化から子どもには強いストレスがかかり、急な不調につながりかねません。慣れ(慣らし)保育を積極的に行ってください。

### ★子どもの健康情報を集め、保存しましょう。園からも情報提供を

入園の際、母子手帳の内容、健康診断結果、予防接種記録、アレルギーの有無などを必ず提示してもらい、留意事項を記録しておきましょう。職員全員で情報共有することは大事ですが、情報そのものの扱いには要注意です。

また、毎日の登園の際、前夜と当日の子どもの体調で気になるところがないか、聞き取りましょう。家庭や登園中にケガをしていないかも尋ねましょう。

お迎えの際は、体調、食事、様子などで気になる点を伝えましょう。ケガも伝えます。くわしい情報は、連絡帳などを活用して記録が残るようにしておきます。

### ★保護者が健康情報を提供しない、無理に預けようとする場合には

保護者が子どもの健康情報を提供しない、無理に預けようとする場合は、「子どもの健康を守るため」である旨を伝え、自治体にも相談しましょう。

### ★保護者の緊急連絡先は定期的に確認しましょう

メッセージを残せる電話番号、または他の人に伝言を残せる電話番号かどうか、定期的に確認しましょう。

### ★緊急時の想定訓練をしましょう

緊急時に即応できるようマニュアルを作り、想定訓練をしましょう。